

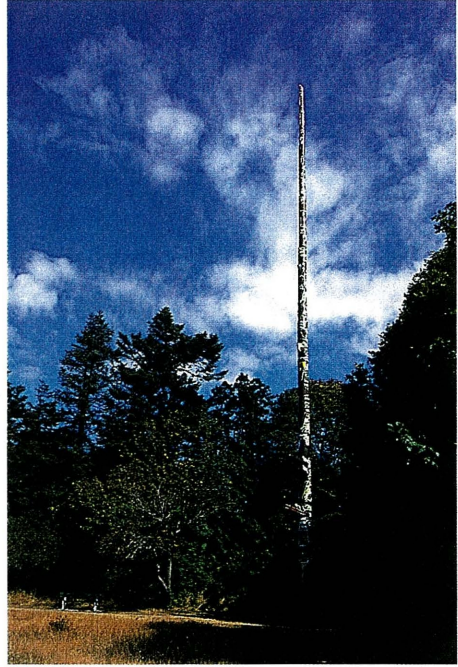
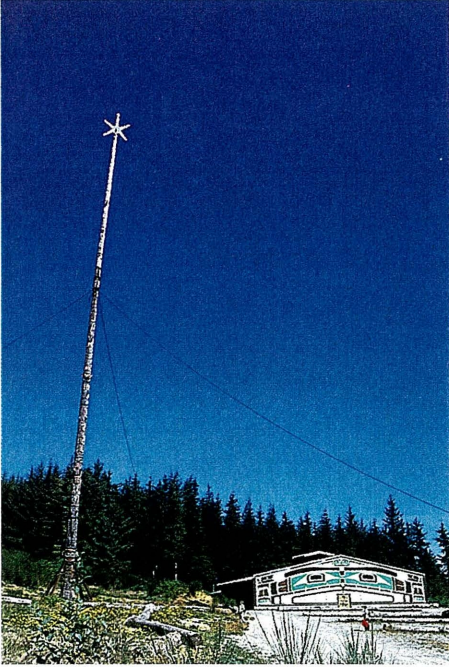
みんなのポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

世界一のトーテムポール (調査余話)

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2015-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 齋藤, 玲子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/5610

》調査余話《



世界一のトーテムポール

ここに挙げた2葉の写真は、世界一の高さを誇るトーテムポールである。左は1973年にアラートベイに建てられたもので、高さは173フィート（約52m）。その大きさがわかるよう建物（ビッグ・ハウス）と人物が写っているものを掲載した。広角レンズで撮影したため、ポールが傾いて見えるのはご容赦いただきたい。クワキウトルのJ.ディック率いる彫刻家たちによって10以上の動物などが刻まれた立派なものであるが、二つの材からできているため、「世界一とはいえない」とする意見もあるようだ。

右は1956年に建てられ、長いあいだ記録を保持してきた高さ128フィート（約39m）のポールで、ブリティッシュ・コロンビアの州都ビクトリアの中心部に近いビーコンヒル公園にある。やはりクワキウトルの著名な彫刻家M.マーティンらによって造られた。これまでに何度かの修復を経てきている。

実は「世界一」と自称するトーテムポールは他にもいくつかあり、一木できているかどうか、（支えなしで）独立して立っているか…などの基準により、どれが一番といい難いようなのだ。そもそも大きなポールはヨーロッパ人が北西海岸地域に到来した後の18～19世紀頃に建てられるようになったのであり、白人に対して集落の力をアピールするものであったり、階層社会が混乱する中で権威を争って造られたというから、爾来高さを競うものであったといえようか。（齋藤玲子）

いずれも2002年8月バンクーバー島にて筆者撮影